

**リヴァンプが Axcelead DDP と「AI による動物行動解析」で共同研究を開始  
～「SHIGUSA」を用いた新規行動指標探索により、創薬のトランスレーショナルギャップ解消に挑む～**

株式会社リヴァンプ(本社:東京都港区、代表取締役社長 執行役員 CEO:湯浅 智之、以下:リヴァンプ)は、Axcelead Drug Discovery Partners 株式会社(本社:神奈川県藤沢市、代表取締役社長:岡田 健吾、以下、Axcelead DDP)と、動物行動データからヒトでの臨床有効性・安全性を予測する新規指標の同定を目的とした共同研究を開始いたします。

**■共同研究の背景、目的**

従来の薬理・毒性試験では、観察者の主観による評価のバラつきや、短時間の観察では捉えきれない微細な行動を見落としてしまうという点が課題とされてきました。これらの課題は、動物実験の結果が必ずしもヒトでの臨床結果に結びつかない「トランスレーショナルギャップ」の一因となっています。

本研究では、リヴァンプが開発した「SHIGUSA」を用いることで、非侵襲・長時間かつ高解像度な行動解析を実現し、従来の手法では検出困難だった客観的なデータを取得します。Axcelead DDP が有する多様でユニークな薬理試験に関するノウハウと、リヴァンプの AI 解析技術を融合させることで、ヒト臨床への外挿性が高い(予測に役立つ)新たな評価指標の確立を目指します。

**■本研究の概要**

対象モデル : 統合失調症のマウスモデル  
使用薬剤 : 当該疾患領域における臨床使用薬(既承認薬)  
検証内容 :

1. 薬剤投与前後および経時的な動物行動データを「SHIGUSA」により網羅的に取得
2. ヒトでの有効性・安全性を予測可能な「新規行動パラメーター」を同定
3. 動物の行動特徴量と、既存のヒト臨床データとの相関関係を解析

両社は本研究を通じ、創薬研究における動物行動解析の新たなスタンダードを創出することを目指します。確立された新たなデジタル評価指標は、新規化合物の評価精度向上や、他疾患領域への応用展開が期待されます。

<本件に関する問い合わせ先>

株式会社リヴァンプ 担当: 布施、今出

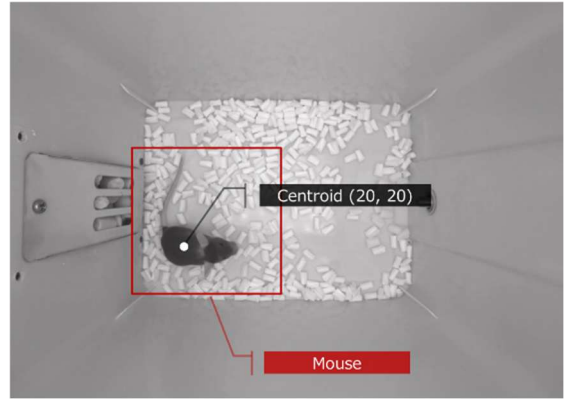
Tel: 03-5413-7165 / Fax: 03-5413-1750 / email: [press@revamp.co.jp](mailto:press@revamp.co.jp)

## ■「SHIGUSA」について

リヴァンプ社内発の AI を活用した非臨床試験のデジタル化推進プロジェクトから生まれた動物行動解析システム。「企業を芯から元気にする」を経営理念に掲げるリヴァンプが、「動物と人の命を救う」ミッションのもと、東京大学と共同開発し、リリースしました。

### 主なサービス

- ① 既存試験項目の検出自動化と評価項目多角化
- ② 定量的指標を用いた化合物の薬効・毒性評価
- ③ 薬効や標的に応じた新規評価系構築支援



事業 URL: [https://revamp.co.jp/ut\\_ai\\_animal-behavior/](https://revamp.co.jp/ut_ai_animal-behavior/)

## ■Axcelead DDP 概要

会社名: Axcelead Drug Discovery Partners 株式会社  
本社: 神奈川県藤沢市村岡東二丁目 26 番地の 1  
代表者: 代表取締役社長 岡田 健吾  
設立: 2017 年 7 月 1 日  
事業内容: 創薬研究に係る事業に関連するアドバイザーおよび業務の受託等  
URL: <https://www.axcelead.com/>

## ■リヴァンプ 概要

会社名: 株式会社 リヴァンプ  
本社: 東京都港区北青山 2-12-16 北青山吉川ビル 3F  
代表者: 代表取締役社長 執行役員 CEO 湯浅 智之  
設立: 2005 年 9 月  
事業内容: 経営実務 / CxO 支援 / 経営企画業務  
マーケティング戦略・クリエイティブ実行支援  
経営 / 戦略 / 業務 / コンサルティング  
デジタル & IT ソリューション  
事業会社運営、エクイティ投資  
URL: <https://www.revamp.co.jp>

<本件に関する問い合わせ先>

株式会社リヴァンプ 担当: 布施、今出

Tel: 03-5413-7165 / Fax: 03-5413-1750 / email: [press@revamp.co.jp](mailto:press@revamp.co.jp)